

DriveChecker株式会社、教育機関向け 「ClassroomChecker」の製品サイトを公開

Google Classroomの運用を“不苦勞”に一年度更新の効率化と成績・配慮事項の誤共有防止を、
ひとつのサイトで分かりやすく紹介



The banner features a laptop displaying the ClassroomChecker interface. On the laptop screen, there are two cartoon owls: one holding a box of colorful eggs and the other wearing a police uniform and holding a padlock. The text on the banner reads: 'ムダな作業を減らす' (Reduce unnecessary work), '正しくデータを守る' (Protect data correctly), 'Google Classroomの運用を不苦勞に！' (Use Google Classroom without effort!), and 'ClassroomChecker'. Below the text are two buttons: '資料をダウンロードする' (Download materials) and '無料トライアルを始める' (Start free trial).

DriveChecker株式会社(本社:大阪府大阪市西区、代表取締役社長:大久保哲也、以下 当社)は、2026年12月にリリースを予定している学校・教育機関向けのGoogle Classroom・Googleドライブ セキュリティ管理ツール「ClassroomChecker(クラスルームチェッカー)」の製品サイト(<https://drivechecker.co.jp/classroomchecker>)を公開しました。

製品サイトでは、年度更新の負担や情報漏えいリスクといった教職員の皆さまが抱える課題と、ClassroomCheckerによる解決方法を分かりやすく紹介しています。あわせて、資料ダウンロードのお申し込みを受け付けています。

■ 公開の背景

GIGAスクール構想により、多くの学校でGoogle ClassroomやGoogleドライブが日常的に使われるようになりました。一方で教育現場では、年度更新のたびに発生する大量の手作業、退職教員の教材がアカウント削除とともに失われる問題、成績や配慮事項が意図せず生徒に共有されるリスクなどが課題となっています。

当社はこれまで、企業向けのGoogleドライブ セキュリティ管理ツール「DriveChecker」を提供してきました。そこで培ったノウハウを教育現場向けに再設計した「ClassroomChecker」の2026年12

月の提供開始に向け、学校・教育委員会の皆さまに製品の特長を知っていただくため、専用の製品サイトを開設しました。

■ 製品サイトの主なコンテンツ

1. 教職員が抱える5つの課題と解決策を整理

「大量の手作業」「教材の引き継ぎ」「情報漏えい」「複雑なセキュリティ設定」「権限の乱立」という教育現場ならではの5つの課題を示し、ClassroomCheckerでどう解決できるかを紹介しています。

 TASK

教職員のみなさまへ

こんな業務の負担、感じていませんか？



大量の手作業

年度更新のたびに、**手作業**での更新が大量に発生



教材の引き継ぎ

退職教員の教材が、アカウント削除とともに失われ、**後任に引き継げない**



情報漏えい

成績や配慮事項が、意図せず**生徒に共有される**



複雑なセキュリティ設定

DLP設定が**複雑で、うまく使いこなせず、運用が進まない**



権限の乱立

アクセス権限が乱立し管理不能に

2. 年度更新の効率化

クラス作成から教職員の異動・退職対応まで、年度更新の作業を効率化する機能を紹介しています。

- 名簿データを取り込み、クラスを一括作成
- 生徒の参加承認を待たずにクラスへ自動登録
- 前年度の課題・教材をまとめて自動コピー
- 退職・異動教員のファイルのオーナーを一括で後任へ引き継ぎ

3. 情報漏えい防止(DLP)

「誰が・どこまで見られるか」をルール化し、違反時の対応も設定できる情報漏えい防止機能を紹介しています。

- 生徒が個人情報や成績データを閲覧できないように設定
- 卒業生や過去のデータへのアクセスを制限
- 教職員同士の共有や、閲覧・編集権限の範囲を管理者が制御
- AIによる共有ルールの自動提案

4. 料金・Google Workspace標準機能との違い・よくある質問

料金プランや、Google Workspace標準機能との違いをまとめて確認できます。
よくある質問や資料ダウンロードへもすぐに進めます。

■ ClassroomChecker 概要

項目	内容
製品名	ClassroomChecker(クラスルームチェッカー)
対象	Google Workspace for Educationを利用する学校・教育機関
提供開始	2026年12月(予定)
料金	1ユーザー月額330円～(税込)、初期費用無料
資料ダウンロード	https://drivechecker.co.jp/classroomchecker/document

製品サイト	https://drivechecker.co.jp/classroomchecker
-------	---

■ DriveChecker株式会社について

Googleドライブのセキュリティ管理サービス「DriveChecker」を提供しています。危険な外部共有の検知・解除から社内共有の自動統制まで、Google Workspace標準機能だけでは対応しきれない共有管理を幅広くカバーします。ご契約ユーザー数は3万人以上（2026年10月時点）。

■ 会社概要

社名：DriveChecker株式会社

所在地：大阪府大阪市西区新町1丁目5-7 四ツ橋ビルディング3階

お問い合わせ：support@drivechecker.co.jp